

なみさざ

第114号

【ミッション】
 私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。

【ビジョン】
 豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けます。



利用者の抱負

10キロ痩せる。
 (崇嘉)

感謝の気持ちを示せるようになりたいです。
 (正巳)

ご飯をいっぱい食べたい！
 (俊朗)

今年はいっぱい遊びたい。
 (俊哉)

風邪をひかないように気を付けます。
 (隆明)

精一杯働き、精一杯遊び、仲間とともに楽しみます。
 (陽一郎)

健康で毎日楽しく過ごしていきたいです。
 (清)

笑顔で過ごす。
 (賢治)

健康に気を付けて、おいしいものをたくさん食べよう！
 (拓也)

親孝行をしたいです。
 (功博)

美味しいものをたくさん食べたい。
 (直人)

グループ実習は、僕の生き甲斐です。
 (勇)

今年も母さんと姉さんとの面会、外出を楽しみます。
 (伸和)

食品加工班で、もつと仕事が出来るようになる。
 (知之)

ハンバーグを食べたいです。
 (隆行)



いっぱい仕事して、いっぱい食べて、楽しい年となりますように。
 (肇)

健康第一で毎日楽しく過ごす！
 (龍司)

よく食べ、よく笑い、今年も元気に一年過ごせますように！
 (次郎)

健康で楽しい一年にしたい。
 (直樹)

楽しく、幸せな令和になりますように
 (和彦)

今年も元気に笑顔たくさんで、過ごせるようにしたいです。
 (忠弘)

楽しく作業に参加する。
 (洋)

適正体重になる。
 (伸泰)

美味しい物をいっぱい食べる。
 (勝巳)

暖かくなったら、マザー牧場に行きたいです。
 (哲)

改めて相棒と協力する。
 (順二)

穏やかに、楽しく、明るい令和の年にしたいです。
 (諒)

日々楽しく、運動を頑張る！
 (直行)

健康で、毎日楽しく過ごす。
 (裕輔)

健康で元気に過ごし、万木織りを頑張ります。
 (近司)

目の前のことをしっかりと受け入れて、前向きに過ごします。
 (功)

ベスト体重になる。
 (陽)

新しいゲームソフトが欲しいです。
 (陽介)

健康第一に、毎日元気に過ごす。
 (讓二)

健康第一！
 (大作)

いろんな所に出かけて、たくさん歩きたいです。
 (美由紀)

楽しい事がいっぱい、ありますように。
 (康恵)

毎日穏やかに、健康で、おいしいものを食べ、がんばります。
 (麗子)

加工棟のお仕事を頑張る。
 (美千代)

健康で、おいしい物をたくさん食べた
 い。
 (潤子)

大好きなマイサポートに出かけたいです。
 (祐子)

いろんな所に行つて、おいしい物を食べに行きたいです。
 (理恵)

お肉・メロンパン・おいしいものをいっぱい食べたいです。
 (香織)

ケーキ・クッキーの工場に行けるように頑張ります。
 (泉)

とんかつをたくさん食べれるように、健康でいたいです。
 (順子)

ニコニコ穏やかに過ごします。
 (純子)

元気にお仕事頑張ります！
 (雅子)

今年も加工棟の仕事をがんばる！
 (真砂子)

名前の通りに明るく笑顔で過ごしたいです。
 (明子)

健康に過ごしたいです。
 (文子)

けんこうで「カゼ」をひかないように。
 (あけみ)

元気に毎日過ごしたいです。
 (昌子)

身の回りの人たちと信頼関係を築いていけるようにガンバリマウス。
 (由紀)

健康第一で、自分の出来る事を一つずつ増やしていきたいです。
 (清伸)

皆様が幸せでありますように。
 (健夫)

毎日、ニコニコ楽しく過ごしたいです。
 (文宏)

お泊りをがんばります。
 (理絵)

今年は、相撲観戦に行きたいです。

(透)

ネコカフェに、行きたい。

(一夫)

今年もお仕事頑張る！

(智司)

ラジオが聞きたい。ネコカフェにいきたい。インプラントもね。

(間子)

いくらどんぶりが食べたいです。

(恵里子)

今年は生活・仕事充実した日々を送りたい。

(岩雄)

移動支援にたくさん行きたい。仕事を頑張る！

(和好)

一班のお仕事頑張ります。

(富美)

盛り付けをていねいにしたい。

(恵里)

ケガをしないように、今年も仕事を頑張ります。

(江美)

職員の抱負

減災対策の大切さを忘れないで。

(施設長 秋本 泰司)

健康第一に正しい生活を送る。

(事務長 小林 悟)

細心に目を光らせ、大胆に攻める一年で行こう！健康第一。

(鶴岡田 鶴子)

初心を忘れずに頑張ります。

(土屋早苗)

令和初の抱負として、幸福感を高められるよう行動し続ける。

(大屋真理子)

「継続は力なり」を大切に、個を尊重します。

(堂下 勉)

皆さんが楽しい学園生活を送れるように、精一杯支援します。

(井上秀一)

「東京五輪」頑張れ日本。頑張れ自分。そして頑張れいすみ！

(加茂正和)

一つ一つ集中して取り組む。

(三上慎一郎)

オリンピックには出場できませんが、世界の幸せを祈ります。

(田辺清万)

位置に似の積み重ねを大切に。小さなことも大切に。

(軽込進一)

運動を継続して行い、心身ともに健康を保つ。

(長沼 毅)

家族・利用者みなさんが、笑って過ごせる一年とする。

(片岡彰則)

一生懸命、いい加減に。

(屋代精一)

今年もよろしく お願いいたします



健康第一に、家庭円満。

(篠崎俊克)

健康で毎日、平和でありますように。

(金城正直)

今年も頑張るぞ！

(佐久間雅也)

たくさん走って健康に！今年も皆さんと楽しく過ごしたいです。

(高地優輔)

体調に気を付け、一年間頑張ります。

(泰居容一)

白子カップ優勝する。

(三神颯人)

健康第一

(長田圭司)

利用者も、もつと仲良く楽しく支援。健康に気をつけて、笑顔いっぱいの日々でいられますように。

(大木崇司)

人との関わりを大切に、日々学びながら過ごしていきます。

(鈴木典子)

健康第一！明るくポジティブな発想を持ち続ける。

(岩瀬佳代子)

初心を忘れずに。一日一日を大切に過ごします。

(岩瀬祐三子)

ママがんばるぞ！

(吉田友希)

笑顔で楽しい一年にしていきたいです。

(松本みゆき)

笑顔で毎日ハッピーな日々に……♡

(會津みどり)

周りの人たちに感謝して、健康で心穏やかに笑顔で過ごす。

(鶴沢美帆)

何か一つ新しいことを始めたいです。

(是枝志津子)

利用者さんと、楽しい毎日を過ごしていきたいです。

(小高由希子)

毎日、楽しく元気に過ごして生活していきたいです。

(國藤真由美)

健康で一年ががんばれますように！

(市東やす子)

健康で過ごせますように。

(川名純子)

明るくすごす。まあまあな毎日。

(吉野晴美)

病気をせず、健康でいられますように。

(鈴木ゆかり)

皆様と共に、元気で楽しく過ごすごすことができるよう頑張ります。

(江澤徳子)

常に寄り添う支援・質の高い支援を！

(仲佐 操)

健康で楽しい一年にしたいと思います。

(池田恵里子)

健康に配慮し仕事に頑張りたいと思います。

(君塚弘江)

今年も健康で、元気に明るく有意義に過ごしたいです。

(鈴木 晃)

一日一日が、平穩無事に過ごせる日が続く事を願います。

(藤平浩美)

健康で毎日楽しく過ごせるように、がんばります。

(八木三枝)

健康で仕事を頑張りたいです。

(手塚伸子)

いつも笑顔を忘れずに！

(佐藤幸子)

五十にして天命を知る。

(小島七生)

健康に気を付けて頑張ろうと思えます。

(宮澤三枝子)

一日一時間のウォーキングを！

(最首京子)

初心の気持ちをふり返り、皆さんと明るく過ごしていきたい。

(小柴さい子)

たんぼの皆さんと明るく楽しく過ごしていきたいと思えます。

(浅野とし子)

利用者さんが毎日笑顔いっぱい元気に過ごせるよう見守ります。

(下山田礼子)

年頭のご挨拶

社会福祉法人 檜の里

理事長

岡部 一邦

明けましておめでとうでございます。皆様には輝かしい新年をお健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

新天皇のもと「令和時代」の幕開きとなった昨年でございますが、天皇即位の礼、祝賀パレードに感激し、ラグビーワールドカップでの日本チームの大躍進に感動した一方、なかでも千葉県が甚大な被害に見舞われた台風15号をはじめ、うち続く大型台風の襲来で自然災害の脅威を実感させられた、悲喜交々の一年でありました。

いすみ学園は「令和元年」に創立35周年の節目の年を迎えましたが利用者の方々は、日中活動に懸命に取り組み「歌の祭典」「夏祭り」そして「檜の里祭」など四季折々の行事やグループ旅行などで楽しい思い出を作られ、充実した一年を過ごされました。

施設運営においては、学園の焦眉の急の課題である「高齢対策」の整備に向けて、着実な一歩を踏み出すことが出来ました。

対策について検討してきた成果を「高齢対策検討委員会報告」として取り纏めることが出来ました。「報告書」を職員一人ひとりが精読

し、自らが何が出来るのかを真剣に考える作業を継続しております。

また高齢対策の一環として整備を進めてきた「機械浴室・浴槽」は予定通り竣工し、車イス利用の利用者に快適な入浴環境を整えることができました。現在職員全員が順次入浴介助を体験し、介護技術の習得に努めております。

新しいこの一年も、利用者の方々に心安らかに充実した日々を過ごしていただくために、職員一丸となって「優しさと思いやり」の支援に努めて参ります。

また「新棟建設」に向けて、その詳細を検討するために「建設委員会」を立ち上げ、プロジェクトに本格的に取り組むなど「高齢対策」の一層の充実・強化を図る年として参ります。

皆様も引き続きご支援ご指導を宜しくお願いいたします。新年が皆様にとりまして幸多き一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



『令和二年を迎えるに際して』

社会福祉法人 檜の里 いすみ学園 施設長

秋本 泰司

昨年は、大変お世話になり、有難うございました。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年は、「令和」の幕開けの年でしたが、振り返ってみると「災害の年」でもあったと総括するしかありません。

千葉県はこれまで「災害のない県」とも言われてきましたが、九月の台風十五号、十月の十九号、そしてその後の豪雨は千葉県だけではありませんが、甚大な被害をもたらしました。

幸いなことに、いすみ学園では大きな被害はありませんでしたが、それは「紙一重」のことであり、近隣には停電や断水が数日間続き、大変な思いをした施設も多くありました。

いすみ学園は、備蓄品などを提供しましたが、もつと地域間で協力し合える事もあったのでは：と思えてなりません。

今回、防災無線も含めて通信不通が数日間続き、状況把握ができなかった事によりますが、全く予想外でした。

昨年八月には、全国グループホーム大会が幕張であり、東北や熊本等の出来事を忘れないようにと「災害」の分

科会を設けましたが、その翌月にこれだけの災害に見舞われるとは、まさに災害は「忘れた頃に：」ではなく「忘れる間もなく：」が実感です。

今なお、復旧作業に苦しみ、福祉避難所で不自由な生活をしている利用者も沢山います。

「明日は我が身」という言葉もありますが、いすみ学園でも備蓄品の補充「避難マニュアル」の見直し等を行いました。何と言っても一施設に出来る事には限界があります。

国や県、そしていすみ市が、いざと言う時に「頼れる存在」になっていることを願わずにはられません。

いすみ学園の課題は、「高齢・虚弱化対策」と「人材確保」でしたが、新たに「減災」も加える事としました。

最後に、昨年、消費税が10%になりました。そのアップ分は社会福祉に活かされることになっています。その約束が本当に守られるか、一人が当事者として注視していく年の始まりとなります。





『令和の新年に想う』

社会福祉法人 榎の里 いすみ学園 保護者会長

谷 島 慶 彦

令和の新年を迎え、いすみ学園は地域に根差した入所施設として歩み続け利用者も歳を重ねましたが、仲間と一緒に落ち着いた学園生活を送っており、ご支援頂いている皆様に、お礼を申し上げます。

さて、知的障害者入所施設は障害者総合支援法に基づき、利用者の地域移行数や施設入所者数の削減を求められており、又、最近東京都では「差別解消の促進に関する条例」が施工されましたが、都外都民独占入所施設の都民利用者でも対象から除外されており、この様に入所施設、特に都外施設利用者を圧縮する様な傾向は誠に残念です。現在東京都の恒常的な入所施設待機者は一千名と云われ又、入所施設利用者も高齢化が進行し、その対応及びその先のターミナルケアが求められています。いすみ学園の様な二十四時間有用な支援機能のある入所施設は、欠く事の出来ない利用者の生活様式です。いすみ学園は利用者の高齢化に伴う課題として、施設整備や医療・生活介護の対応施策を保護者に発表し、利用者の先行きの道筋を示されました。更に、いすみ学園が「終の棲家」として、

利用者の人生を支援し続ける様、宣言して頂いた事は、親亡き後の心配を拭い去るもので保護者は安堵致しました。保護者会の活動の中で、利用者の豊かな生活を支援する為、「学園と母親代表との話し合いの会」を定期的に行っています。最近の事例では①古くなった外作業棟を、利用者の日中活動支援の拠点の部屋として改修した。②利用者の寝具一式を全面リースに切り替えた。これらは、何れも母親達の要望から学園に提案して実現出来たもので、時間と費用は要しましたが、利便性と省力化の効果が得られました。又、毎年秋の「榎の里祭」は地域に対するいすみ学園の一大行事であり、その中で激安バザーは、保護者の母親達が毎年主催して地域の皆様に好評を得ています。保護者も高齢化が進み片親化により父親の少なくなる中、母親や兄弟姉妹の力を必要としており、今後も保護者会活動の原動力となつて頂く様、期待しています。

利用者の幸せは、保護者の喜びでもあり、令和の新時代も利用者が、豊かで幸せな学園生活が送られる様、学園に協力して努めてまいります。

班旅行 G実習A班

去る令和元年八月二十八日〜二十九日、事前に利用者から聞き取った意見をまとめ、グルメ旅行を計画。静岡県浜松市に行つて来ました。

初日牧の原サービスイリアでは、グループごとに分かれて個々にご当地メニューを注文。エアパークでは、自衛隊の戦闘機F15や装備品を見学。シアターでは、天井いっぱい映し出された航空機による援助活動の映像を楽しみました。その後、今宵の宿となる、かんぼの宿「三ヶ日」に到着。温泉にのんびり浸かり、日頃の疲れを癒すことができました。夕食は、お待ちかねの季節料理を堪能。食後にはカラオケを行い、仲間との絆を深めるひと時となりました。

二日目は、うなぎファクトリーでの工場見学。生産ラインの映像を観ている間にも、どこからか甘いにおいが漂い、皆さん自然と笑顔がこぼれていました。昼食は静岡県限定レストラン「さわやか」へ。開店前から行列ができているほどの人気店で、看板メニューの手ごねハンバーグ(牛肉100%)に舌鼓。満足した様子が表情から伺えました。おやつはご当地限定スイーツ、治一郎のバームクーヘンでティータイム。

二日間にわたるグルメ旅行で、今年度もグループ実習の仲間と大切な思い出

出を作ることができました

(支援員 篠崎 俊克)



班旅行 食品加工班

食品加工班は9月26日〜27日の1泊2日、総勢16名で行つてまいりました。年に1度の作業班ごとの学園旅行。今年度は「東京を楽しもう!」という事で、東京都のチャリティー協会の補助もある「かんぼの宿青梅」に宿泊先を決め、1日目は高尾山散策と青梅赤塚不二夫会館、2日目は東京スカイツリーに行きました。

高尾山では日本一の急勾配というケーブルカーに乗って中腹まで行き、その後歩いて山頂にある薬王院まで行きました。いすみとはまた違った広大な自然の中でのウォーキングはとても

清々しく、山頂で食べたアイスやお団子もひときわ美味しかった事でしょう。東京スカイツリーは初めての方も多く、地上350mの展望デッキでは目を丸くして360度の東京の景色を一望していました。地上の見えるガラス張りの床の上に緊張気味に乗る姿も印象的でした。展望デッキにあるレストランで食べたランチも良い思い出です。



今回も事前に写真やパンフレットを使用したアンケートで一人一人に行きたい場所、やりたい事、食べたいものなど丁寧に聞き取り、1人1人の希望が必ず叶うように計画を立てました。始終笑顔の絶えない楽しい時間を皆で共有でき、加工班メンバーの絆も一層深まったと思います。来年もまた楽しみに、みんなで力を合わせて作業に励みます。
(支援員 岩瀬 祐三子)

班旅行 石けん班

石鹸班は、令和元年十月三日〜四日に茨城方面へ旅行に行つて来ました。見事な秋晴れの中、一日目はまずアクアワールド大洗へ。ダイナミックなイルカや愛嬌たっぷりのアシカのショー、アザラシやペンギンのお食事タイムなどを見学しました。皆さん、思いの外興味津々の様子で食い入るように様々な海の生き物を観察していました。水族館の次は、絶景パワースポットとしても話題の大洗磯前神社を参拝しました。しっかりと手水・二拝二拍手一拝の作法に則りお参りをしました。さて、それぞれどんなお願いごとをしたのでしょうか・・・？



宿泊先はかんぼの宿大洗でした。ゆつくりと温泉に浸かって旅の疲れを癒した後は、お楽しみ夕食です。茨城県の名物・常陸牛のステーキに舌鼓を打ちました。

二日目の朝は生憎の土砂降りでしたが、日頃の行いが良いと見え、バスで移動している間にすっかり天気は回復。印西市にある、いんば学舎・オソロク倶楽部のレストランに向かいました。知的障害を持つ利用者の方々が自信に満ち溢れた表情で生き生きと働く姿を拝見し、本格的なピザやパスタのコース料理を味わいました。

心もお腹も満たされ、とても穏やかな二日間を過ごすことができ、石鹸班の結末はより一層強まったことでしょう。

来年度もまた楽しい旅ができますように。
(支援員 是枝 志津子)

班旅行 3 班

十月三十一日、十一月一日に、日頃の疲れを癒す為に、外作業の皆さんで班旅行に行きました。晴天にも恵まれて、埼玉県にある東部動物公園に向かいました。その途中、中華料理「生楽園」で昼食を食べました。園内では、一つのグループになって散策しました。人気のホワイトタイガーを始め、ライオン、ペンギン、ヒグマ、ラクダ等、様々な動物達に触れ合う事が出来ました。その後宿泊先の休暇村奥武蔵に到

着。一日の疲れを取る為に、大浴場と露天風呂のある温泉に入りました。夕食は皆さん、和気あいあいと盛り上がり、お腹いっぱいになりました。



二日目は朝食後、ムーミンバレーパークに向かいました。楽しみにしていたのですが、残念な事に駐車場が満車。急ぎよ陸上自衛隊広報センターいつくらんランドに目的地を変更しました。戦車や戦闘機を見る事が出来る他に、実際に自衛隊の方々が、使用するリュックを背負ったり、貴重な体験をして来ました。行程が変わってしまいました。が、十二分に楽しんでいました。

日頃一緒に仕事をしている仲間との絆を一層深め、今回もまた思い出に残る班旅行となりました。

(支援員 長田 圭司)

施設研修会

課長補佐 井上 秀一

去る令和元年十一月一日(金)、いすみ障害福祉施設協議会・施設職員関係研修会を開催しました。今回はいすみ学園の担当で、あかね園・ピア宮敷・いすみ学園から合計34名が交流ホームに集まり、約2時間半のプログラムを実施しました。講師には「いすみ学園オンラインブズマン」としてお世話になっていた谷川陽子先生をお招きして「高齢障がい者への対応と介護」について学びました。先生は、東京都立心身障害者福祉センターの相談業務をはじめ地域包括支援センターや特別養護老人ホームの施設長を歴任され、専門学校や東京都介護支援専門員研修の講師、介護保険認定審査委員等を兼職されてきた専門家です。

講義内容は、人の老化・疾患・認知症・高齢化の課題・介護のポイント等で、とてもわかりやすく教えていただきました。高齢障がい者への対応について、介護施設でも障がい者だからと特別に対応は変えていないそうです。学園でもこれまで通り、利用者個々の状態を正しく理解して必要な支援や介護を行ってあげればよいと再認識しました。学園では最近、特殊浴槽を導入して



介護浴を始めました。職員全員が操作を覚えるのが直近の課題です。講義後の職員交流会では活発な意見交換が行われ、大変有意義な時間となりました。他施設の職員から「介護浴室を見た」というお話もあり、特別な研修会以外でも情報交換の機会が持てればと考えています。

『高齢・虚弱者対策』今のいすみ学園の優先課題と言えます。男性利用者の平均年齢は、50.2歳。一方女性利用者は、53.9歳。50歳を過ぎると予想以上の機能低下の波が押し寄せます。食事、排泄、入浴を中心としたADLにおける介護度が上がることに。更に日中活動に伴う移動も含め、転倒等による事故と怪我のリスクが高まります。事実、支援現場では、ヒヤリハット報告(インシデントレポート)が複数報告されておりあります。また、私も含めた職員の平均年齢が50歳弱と言うことで、腰痛等の身体的負担や疲労も深刻な問題と言えます。

さて、そんないすみ学園にとって強力な打開策の一つと言える「介護浴」の利用が11月より導入されました。開始後一カ月を経過しましたが、今のところ大変順調に対応ができております。我が介護班(万木工舎)において、利用候補であった2名(♂Kさんと♀Mさん)が利用しています。専用の車イスに座ったまま、舟のような浴槽に入るタイプの介護浴槽です。以前からの普通入浴と比較すると、とにかく安全でゆっくと温かく、快適に利用され

介護浴導入に感謝

支援主任 加茂 正和



ており、その表情からは、気持ち良さ気な満足感が伺えております。

また、現在までに全支援職員の8割程への利用説明が終わりました。一日でも早くすべての職員が使用できるように、随時、説明会を企画します。今後増えるであろう対象利用者の有効活用に向け、介護班を中心に計画的に取り組んで参ります。

最後に大変綺麗な浴室及び、高機能満載の介護浴の完備に際し、ご協力を頂いた皆様に、心より感謝申し上げます。大切に使用させて頂きます。ありがとうございました。

「槇の里祭」を終えて

いすみ学園主催、秋の祭典「第35回槇の里祭」が10月19日に開催されました。早朝、あいにくの雨でしたが、開始時には地域の方々や職員の願いがかない、素晴らしい青空と共に大勢のお客様に来園いただき、大盛況の中で行う事が出来た事を、まず始めにお礼申し上げます。



今年度のオープニングセレモニーは、和太鼓「凧」による力強い演奏から始まり、太田いすみ市長を始め、来賓の方々のお祝いの言葉をいただき、始まりました。メインステージでは、大正琴「福寿奏」が美しい旋律を奏で、皆様のお心を魅了。思わず立ち止まってし

まうほどの素晴らしい演奏でした。また、よさこい「輝翔連」の演舞では、観客席で見ていたお客様、利用者の方々は、可憐で力強い踊りを見せられ一緒に踊り、会場がとても盛り上がりました。



ステージの外では激安バザー、第35回という節目を記念し、豪華景品によるお楽しみ抽選会、各班による個性の光る模擬店、地域からは源氏商店、みずほ学園、ときわぎ工舎、ピア宮敷と、多くの方がご協力して下さいました。今年度は「Peace」笑顔、をテーマとして開催し、地域の方々、学園職員、利用者の皆さまが素晴らしい笑顔で、大盛況の中開催できました。最後となりますが、今年度実行委員をさせて頂き、関係者の方々を始め、ボラ

ンティアの皆さん、保護者の皆さんのご協力もあり、無事に終えることが出来ました。紙面ではございますが、お礼を申し上げたいと思います。
(支援員 長田 圭司)



第35回槇の里祭参加者の皆様へ
赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました。

募金額 45,907円

ありがとう
ございます。



去る十二月十九日、今年はスイミングクラブでも活用されている、勝浦ホテル三日月の会場を選びました。場内はクリスマス一色の飾り付けがされており、皆さん気分よく会場入りしました。理事長挨拶の後、利用者代表による乾杯の言葉を合図に、テーブル一杯に並べられたご馳走を美味しく頂きました。お腹が満たされたところで、各班趣向を凝らしたトピックや新人職員による余興で皆さん盛り上がっていました。ステージでは利用者の笑い声と笑顔が溢れており、令和最初のクリスマス忘年会は、皆の良い思い出になったと思います。
(支援員 篠崎 俊克)



第5回ふるさとチヨイス大感謝祭

食品加工班では、千葉県いすみ市のふるさと納税の返礼品を扱っています。



ふるさと納税サイトの「ふるさとチヨイス」主催の「第5回ふるさとチヨイス大感謝祭」が11月16日(土)〜17日(日)の2日間、パシフィコ横浜展示ホールにて開催されました。これは毎年全国各地から返礼品を扱う自治体が出店し、約1万2千人の来場者が参加するという大きなイベントです。今年初めて千葉県から「いすみ市」が出店するということで、いすみ学園も他の3つの団体と共に参加し、日々利用者の皆さんと共に作っているジャムやクッキー、味噌のPRをさせていただきました。

このような大きな会場での出店は皆初めてで、慣れない中での大勢の方々への試食提供と販売は大変でしたが、とても貴重な体験をさせていただきましたことに感謝しております。いすみ学園のある「いすみ市」の良さが全国の皆様を知っていただける良い機会となりましたと思います。改めましていすみ市役所を始め関係者の方々にお礼申し上げます。(支援員 岩瀬 祐三子)

いすみ警察署除草作業



ご覧頂いている写真は先月実施した表題の「作業風景です。これは平成25年に施行された「障害者優先調達推進法」という法律のもと行われた新たな請負事業であります。国や地方公共団体等が率先して障害者就労施設から物品等の調達をして、自立の一助となることを目的としたものです。いすみ学園ではこの取り組みも6年目となり、参加した利用者の皆さん、地域での活動に生き生きとしています。先方からも綺麗になり喜ばれております。万木城除草や広域農道植栽作業同様、いすみ学園の地域貢献の一つとして今後も継続して行きたいと思っております。(支援主任 長沼 毅)



感謝録

次の皆様方から、たくさんの御寄附を頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。(順不同 敬称略)

〈寄附金〉

- ・平井勝秀・宮崎くみ・川名教子・桐沢里津子・永江和幸・千葉ノミ(株)代表取締役村井昭之・(有)田辺印刷・田辺司郎・タカハシ・(有)石野薬局・佐藤元明・みずほ学園施設長佐瀬義雄・いすみ郵便局長・(株)三光電設・(有)いたみや・社会福祉法人外房・(株)新清ハイツ・カットサロン三上・しらぎく美容室・実方悦子・(株)ビーアイエー代表取締役渡邊敏男・鈴木聡明・高師啓子・社会福祉法人クローバー会理事長西村清・窪岡寿賀子・ピア宮敷・太田洋・渡辺敏男・清水文子・大坪宏一・百々代

〈寄附物品〉

- ・野口由美・佐川佳子・舟田和子・みずほ学園保護者会長・(株)みつやま・かし祭り実行委員会・市村陽子・飯田恭子・作田区青年会・平井勝秀・千葉ノミ(株)・田野忍夫・金野弘子・浅里美紀・西宮佳子・長澤佳美・古屋希依子・川名教子・(株)メラマック・細井多恵子・竹内恒美・吉田電気・森伸子・皆川会計事務所・濱田奈緒美・平間裕也・松島弘美・飯島せつ子・久保田武子・伊藤安子・岡内勲夫・早川眞弓・斉藤澄子・(株)房給・(株)新健食・矢澤千

- 里・(株)キタムラK2・勝又もと子・関百合子・中村洋子・鶴岡茂美・関根千草・落合道子・永江加代子・佐藤幸子・沼山雅江・伊津野佐知子・(備)一羊会・すずかけ作業所・竹村昌子・亀山紀子・渡辺久美・(株)アスカ・鳥山美智子・高梨寿美枝・ブルドックソース(株)・明治関東支社流通営業二部営業三課・相澤淑子・怒木一義・北本三千代・ジヤパンフーズ(株)商品開発部開発チーム・安斎悦江・鈴木茂代・森孝子・鈴木柴帆・おぞね・今堀亨子・宇佐美淳子・山崎節子・斉藤みね子・小野由規子・石黒良江・坂本ツネヨ・吉田ふみ代・鶴岡利子・赤嶺昌江・森和也・大山友紀・大河原洋子・谷口砂利奈・坂本成子・松永益枝・谷川陽子・石田美加・並木智子・松村祐子・(株)米本工務店・糸井美保子・宮原直子・野口泰正・唐鎌恵美子・遠藤・中島まゆみ・難波かず子・妙勝寺・宗岡真理子・成嶋豊・森奈月・伊藤園・コココライーストジャパン(株)・いすみ郵便局・ヤックス夷隅店・(株)秋葉商店・(株)レオック・(株)味の素コミュニケーションズ・若林剛・宮崎くみ

編集後記

令和二年、新しい年が幕を明けました。いすみ学園においては、今年も「ワンチーム」で精進して参ります。(さざなみ担当 高地優輔・屋代精一)

題字は大貫功博さんです。